

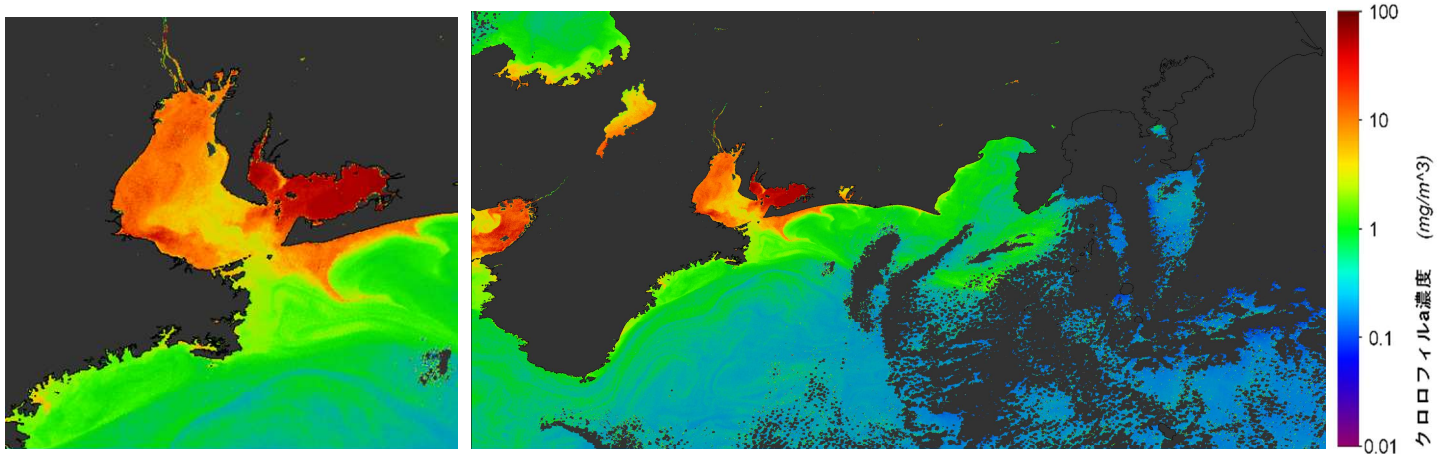
# 海況速報（クロロフィル a 濃度分布）

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

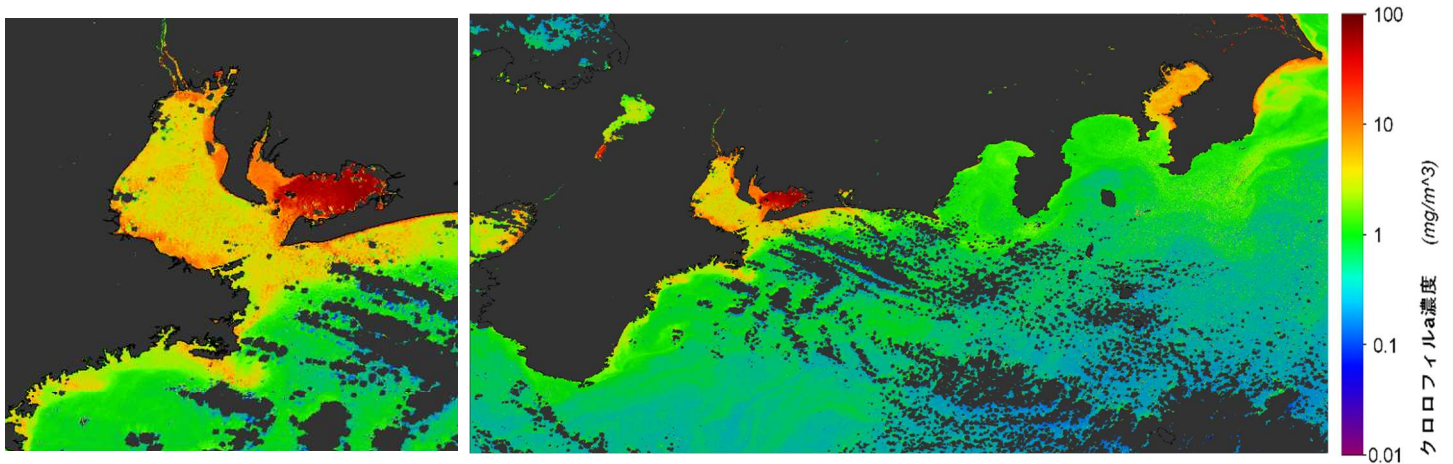
令和4年1月14日

1月10日の衛星画像をみると、クロロフィル a 濃度は、三河湾で最も高く、伊勢湾の湾奥から西部にかけて高くなっています。渥美外海の沿岸部は湾内水の影響でやや高く、沖合は黒潮系の暖水の影響で低くなっています。

## しきさいによるクロロフィル a 濃度分布（1月10日）



## しきさいによるクロロフィル a 濃度分布（2021年12月30日）



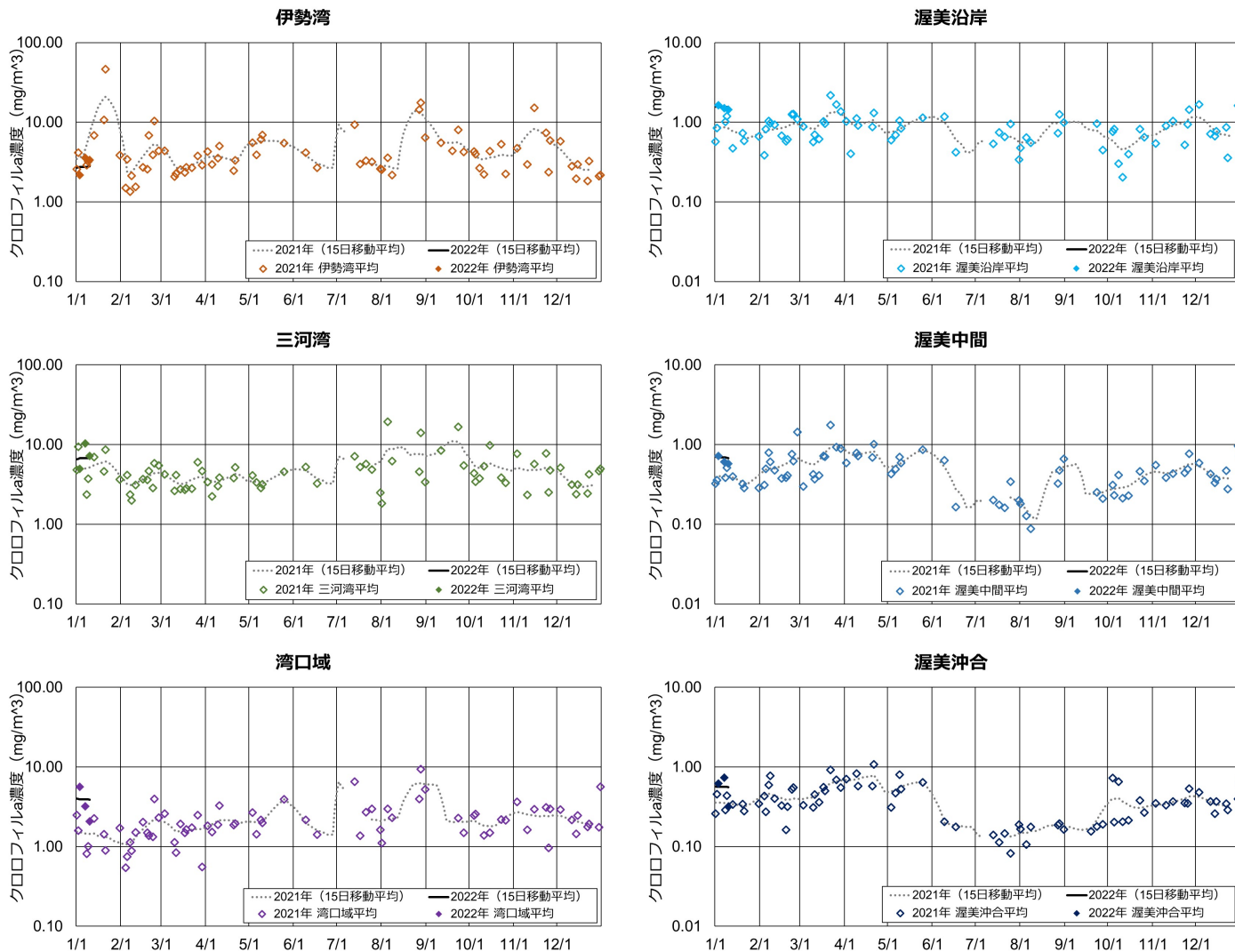
※宇宙航空研究開発機構（JAXA）提供の SGLI 画像を使用

※画像データによるクロロフィル a 濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。

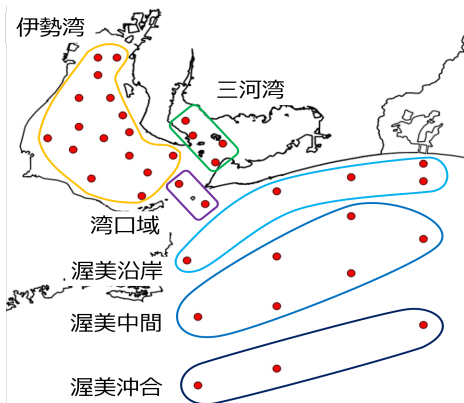
また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがあるため、目安としてご利用ください。

## クロロフィル a 濃度の変動

クロロフィル a 濃度は、伊勢湾では昨年 11 月頃から減少傾向、渥美中間・沖合では昨年 8 月頃からゆるやかに上昇傾向となっています。その他の海域では概ね横ばいで推移しています。



観測衛星「しきさい」に搭載された SGLI センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています (令和 4 年 1 月 10 日までのデータ)



モニタリング地点